

この小さなボックスが、 傾斜監視の人手不足と コスト削減を同時に解決。

次世代インフラ監視システムOKIPPA104完成。



傾斜やインフラの変状を



スマホ タブレット PC

にダイレクトに送信

センサボックス
だけで始められる
インフラ監視
クラウドシステム

OKIPPA104

オ キ ャ

“見にいかななくても分かる”

巡視による「目視点検」の弱点をカバーするバラマキ型の傾斜監視システム。

OKIPPA104は、最新の無線通信規格LPWA(Sigfox)とクラウドシステムの連動により、傾斜監視の単価も維持/運営コストも劇的に削減。「目視点検」の限界や人手不足がカバーでき、いままで設置できなかった場所や監視が手薄なエリアにも設置が可能になります。

最新の無線通信規格LPWA(Sigfox)が
可能にした低価格と機動力

少量のデータを小電力で遠距離に飛ばせるLPWA(Sigfox)/省電力広域無線通信ネットワークにより、OKIPPA104は自営の基地局が不要。付随する費用や経費も大幅にカットして低価格を実現。いつでもどこでも情報を手にできるクラウドのメリットを最大に活かす機動力も備えています。



「より効率的な点検業務」
をサポートする、

OKIPPA₁₀₄

の6つの アンサー



OKIPPAのアンサー 1

**1/2の低価格
を実現**

コストはセンサボックス本体費と2年間の使用料だけ。従来技術の1/2以下の低価格を実現できるので監視測点数を2倍以上に。

OKIPPAのアンサー 2

**スマホ/PC
で常時確認**

LPWA(Sigfox)により、スマホやPCで計測データを確認。メールによるアラート通知も可能。

OKIPPAのアンサー 3

省電力

2年間電池交換不要

給電はリチウムイオン電池のみ。2年間電池交換不要です。(1時間に1回の送信の場合)

OKIPPAのアンサー 4

設置だけ

LPWA(Sigfox)とクラウドの活用により、センサボックスだけで計測/監視が可能。

OKIPPAのアンサー 5

**遠隔操作
も可能**

クラウド上で再計測や計測間隔、衝撃検知のしきい値、ダウンリンク周期の変更が可能。

OKIPPAのアンサー 6

**通信環境
をサポート**

新無線規格LPWA(Sigfox)がカバーできないエリアには、個別対応いたします。

設置例



ブラ杭に設置 (ビス止め)



金属部に設置 (マグネット利用)



コンクリート部に設置 (アンカー利用)



カンタン設置

設置はドライバー
またはマグネットで。

センサボックス

サイズ	10cm × 10cm × 4cm
測定範囲	±90° (3軸方向の角度)
分解能	0.06°
傾斜計測・通信間隔	標準: 1時間に1回 (遠隔操作で変更可能 / 最小15分に1回)
GPS 測位	標準: 1週間に1回 (位置測位のみ)
地磁気 (方位角)	標準: 1週間に1回 ※周辺に磁気影響がない場合
ボックス仕様	IP67相当
使用温度範囲	-10 ~ 60℃
使用湿度範囲	20 ~ 80% RH (結露なきこと)
電源	リチウムイオン電池
電池稼働期間	標準: 約2年間 ※1時間に1回通信する場合

通信規格

LPWA (省電力広域無線通信)	Sigfox — シグフォックス — (遠隔操作可能 / ダウンリンク)
------------------	---

クラウドサーバー

計測データの確認	インターネット環境で常時確認可能
計測データの項目	傾斜角度 (3軸方向) 衝撃検知 (2 ~ 16G) 設置位置表示 (地図アプリで表示) 電池残量 (管理画面に電圧にて表示) 地磁気 (方位角) ※周辺に磁気影響がない場合